

Make Value

Engineer Support Company

『24年1月期 第1四半期
オンライン説明会

2023年6月16日

— Create the Future —
ARTNER

JPX
PRIME

株式会社アルトナー

1

- 改めまして、本日はWebセミナーにご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。
- それでは早速ですが、説明に移らせていただきます。

会社情報



名 称	株式会社アルトナー（英訳名：ARTNER CO., LTD.）	
設 立	1962年9月18日（昭和37年9月18日）	
代 表 者	代表取締役社長 関口相三	
株 式	東京証券取引所プライム市場（証券コード：2163）	
株主総会	大阪にて開催	
資 本 金	2億3,828万4,320円（2023年1月31日現在）	
本 社	東京／大阪	
事業拠点	横浜／宇都宮／大阪／名古屋	
研修拠点(LC)	東日本／西日本	
事業内容	1) ソフトウェア 2) 電気・電子 3) 機械	左記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
社 員 数	1,276人（2023年1月31日現在）	
許可番号	労働者派遣事業（派27-020513）有料職業紹介事業（27-ユ-020355）	

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

2

- まずはじめに会社情報です。
- 当社の設立は1962年9月18日。
- 昨年、会社設立60周年を迎えました、技術者派遣事業会社の老舗であります。
- 株式は東京証券取引所プライム市場に上場しております。
- 証券コードは、2163です。
- 2023年1月31日現在で、社員数が1,276名となっています。
- 事業内容は、ソフトウェア、電気・電子、機械領域の技術者派遣事業、および、請負・受託事業を展開しています。

1	9期連続 増収・増益 2桁成長	P3
2	第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要	P13
3	プライム市場の上場維持基準達成への進捗	P25
4	安定的かつ継続的な配当の実施	P39
5	参考資料	P43

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

3

- それでは、9期連続増収・増益 2桁成長の背景・要因について、ご紹介させていただきます。

技術者派遣の市場規模、顧客企業の研究開発費

■ 技術者派遣の市場規模

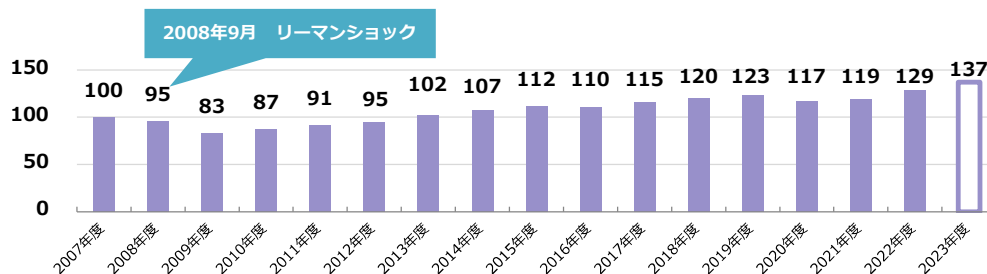
1兆1,000億円～1兆3,000億円 (推計)

「労働者派遣事業報告書の集計結果」(厚生労働省)より当社算出

※労働者派遣事業「年間売上高」の内、「無期雇用派遣労働者」かつ
「製造技術者」「情報処理・通信技術者」「その他の技術者」の売上高の概算

■ 顧客企業の研究開発費

企業は研究開発に継続的に予算を投じるため、安定的に推移。



※3月決算の上場している顧客企業の開示資料に記載の研究開発費を単純集計し、2007年度の指数値を100として算出。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

4

- まずはじめに、当社が属します技術者派遣の市場規模は、1兆1,000億から1兆3,000億であります。
- 業界は長年にわたり2桁成長を遂げている成長業種です。
- 次に、当社の主要顧客であります製造業の研究開発費についてご説明します。
- 毎年研究開発費は右肩上がりで増額されており、当社のビジネスに風が吹いている環境下にあります。

「9期連続 増収・増益 2桁成長」の要因まとめ



■ 長い歴史による顧客企業からの信頼感

- 60年の長い歴史の中で、多くの顧客企業と信頼を築き、実績を積み重ねた

⇒ 未経験の新卒技術者の配属、また、既存の技術者の追加配属が可能



■ 9期前からアルトナーが作り上げてきたビジネスモデル

- リーマンショック時にも、メーカーの業務工程の上流工程（研究開発、設計開発部門）に配属されていた技術者はあまり契約解除にならず。
- 上流工程への技術者の配属比率を高めていく方針を決定。
- 上流工程に配属可能な優秀な学生を採用するため、技術者のニーズを踏まえた社内制度（転職支援制度、成果報酬型の給与体系、エリア限定制度等）を導入。
- 顧客企業の上流工程の業務に合わせた教育・研修を実施し配属。

⇒ 技術者単価が上昇し、その結果、利益率が上昇。



■ マーケットニーズの高い技術分野への技術者の配属

- EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)、インフラ(充電インフラ、水素ステーション)、自動運転、半導体等の開発プロジェクトに配属

⇒ 稼働率が高水準で推移。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

5

- それでは、9期連続増収・増益 2桁成長の要因についてご説明します。
- まずはじめに、長い歴史による顧客企業からの信頼感。
- 未経験者の新卒技術者の配属、また、既存の技術者の追加配属が可能です。
- 60年の長い歴史の中で、多くの顧客企業と信頼を築き、実績を積み重ねてまいりました。
- 次に、9期前からアルトナーが作り上げてきたビジネスモデルにあります。
- これは後ほど詳細をご説明します。
- 3つ目としましては、マーケットニーズの高い技術分野への技術者の配属です。
- それでは個別に見てまいりたいと思います。

沿革（1953年創業時）

1953年～

- 1953年兵庫県尼崎市にて有限会社関口興業社として創業

- 設計部門より設計図面を預かり「白焼き」「青焼き」で複写・製本

- 設計部門に頻繁に出入りする



創業



- 阪神工業地帯の重工業メーカーに対して「工業用手袋」の販売・製造



- 理系社員を雇い設計図面のトレース業務を始める



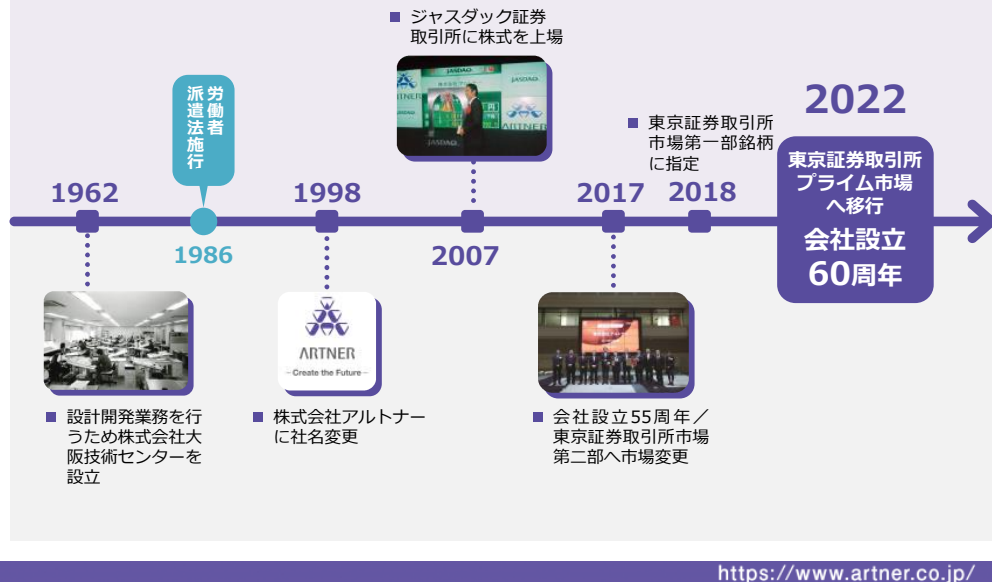
- トレース業務だけでなく、設計開発業務の需要が高まる

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

沿革（1962年～現在）

1962年～



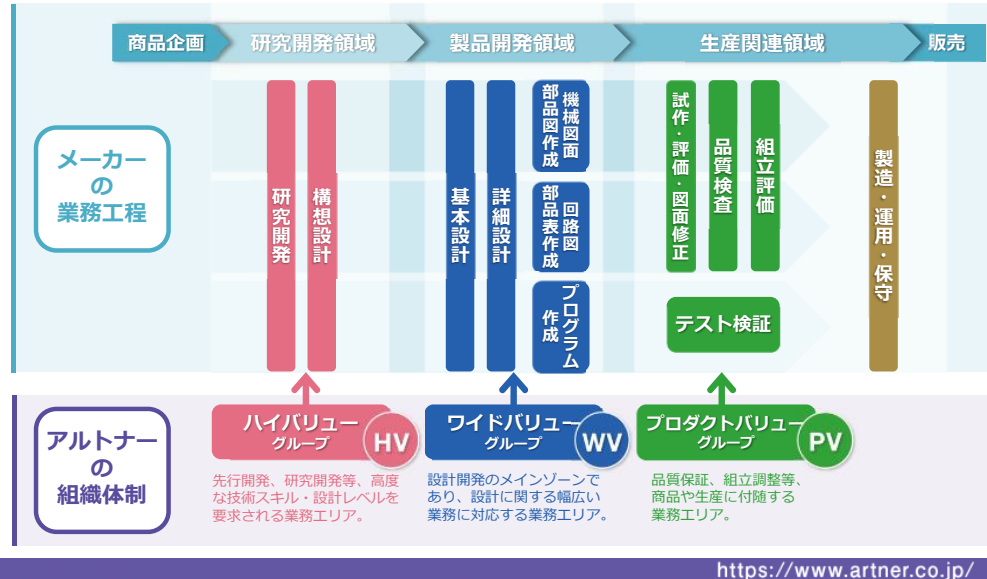
Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

7

- 会社の沿革でございます。
- 1962年、昭和37年に設計開発業務を行うための会社、旧社名の株式会社大阪技術センターを大阪に設立しております。
- 1998年、株式会社アルトナーに社名変更。
- 全国展開を視野に、ローカル的な大阪技術センターという社名を株式会社アルトナーに変更しております。
- 2007年、ジャスダック証券取引所に株式を新規上場。
- 2017年、東京証券取引市場第二部へ市場変更。
- 2018年、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定。
- そして、2022年、東京証券取引所プライム市場へ移行。
- 併せまして、会社設立60周年を迎えさせていただきました。

メーカーの業務工程に対応する当社の各グループ

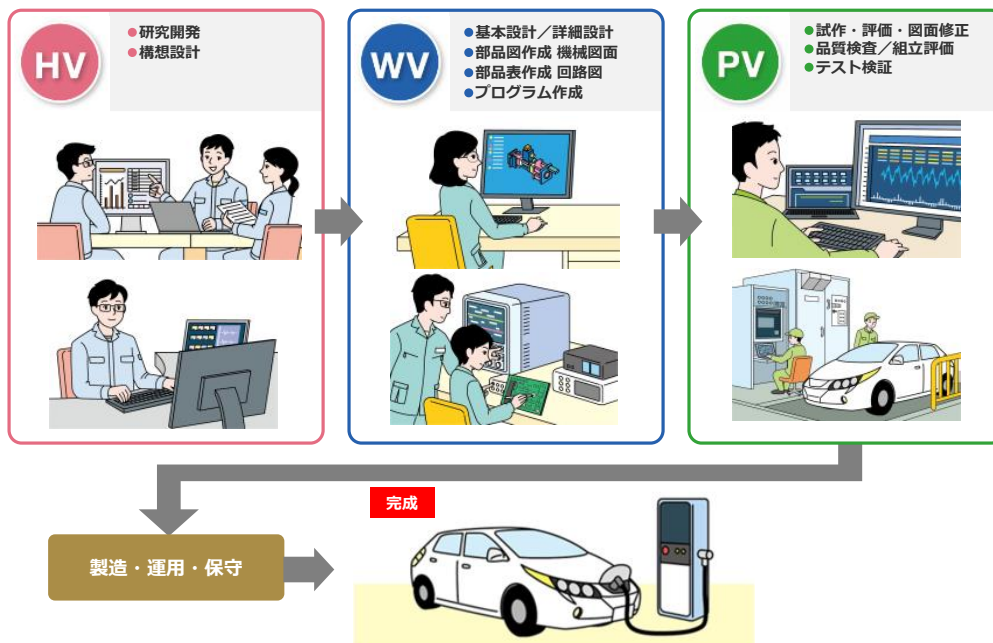
- 上流工程は、景気の影響を受けにくいマーケット
- 設計開発のプロジェクトに重点的に配属(特に自動車メーカー)
- 上流工程への配属結果として、技術者単価が高くなる



- 9期連続増収・増益の二つ目の要因です。
- 長年にわたって当社が作り上げてきましたビジネスモデルについてご紹介します。
- 2007年のジャスダック市場上場の状況下におきましては、当社のエンジニアの配属比率が製品開発領域から生産関連領域に比重が高く、好不況の波を受けやすい状況下にありました。
- それを現在におきましては、研究開発領域から製品開発領域にウエートを移動し、好不況の波に影響を受けにくい配属状況に変化しております。

メーカーの業務工程と当社エンジニアの業務イメージ

[例:電気自動車(EV)]



<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

「カーボンニュートラル」を含む設計開発プロジェクト



エコカー



ソフトウェア

- ブレーキ制御システムの開発
- モーター、インバーターの解析

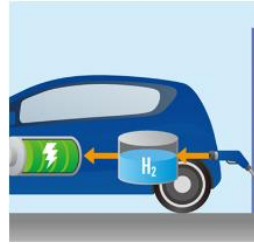
電気・電子

- 次世代燃料電池の研究開発
- ハイブリッドシステム設計
- 車載電池の安全性評価

機 械

- エコカー充電器の開発
- 駆動用モーターの開発

燃料電池自動車 (FCV)



ソフトウェア

- 水素ステーションのシステムの研究開発
- エネルギーに関わるシステムの研究開発

電気・電子

- 燃料電池の基本性能の解析
- 水素の安全性の研究開発

自動運転



ソフトウェア

- 安全運転支援システムの研究開発
- カメラ画像による自動周辺監視システムの先行開発

電気・電子

- 駐車支援システム(自動ブレーキ、アクセル制御等)の開発
- レーンキープアシスト(ステアリング補助等)の開発

半導体



ソフトウェア

- 半導体装置のアプリケーション開発

電気・電子

- 半導体露光装置の回路設計

機 械

- 半導体露光装置の温調機の開発(筐体の構想、基本設計)

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

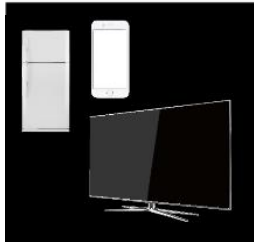
10

- 増収・増益要因の3つ目としましては、「カーボンニュートラル」を含む設計開発プロジェクトに多くの人財を配属することにより、高い契約単価を獲得し、利益率の向上につながっております。

設計開発に関わる製品・システム



家電機器



ソフトウェア

- エネルギーシステムの開発
- iPhone向けアプリケーション開発

電気・電子

- スマートフォンの基板の試作・評価・解析
- AV機器の回路設計

機 械

- 白物家電の設計開発（筐体設計、構造設計）
- カーナビゲーションの開発

医療機器



ソフトウェア

- 歩行アシスト機器の研究開発
- 血液脈波測定器の研究開発

電気・電子

- X線画像処理装置の制御基板の設計開発
- 内臓脂肪測定装置の評価

機 械

- PETシステム開発
- 輸血・輸液セットの改良、次期セットの設計

自動二輪車



ソフトウェア

- ブレーキ開発のためのテストソフトウェア開発
- デジタルメーターのソフトウェア開発

電気・電子

- 電気配線用ハーネスの設計

機 械

- フレームの設計開発
- 電動バイクの設計開発

航空宇宙機器



ソフトウェア

- 次期人工衛星の研究開発
- 人工衛星の無線通信機のシミュレーター開発・評価

電気・電子

- 人工衛星に関連する検査装置の開発

機 械

- 航空機関連の試験治具設計開発
- 旅客用AV機器の開発
- 航空機の設計開発

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

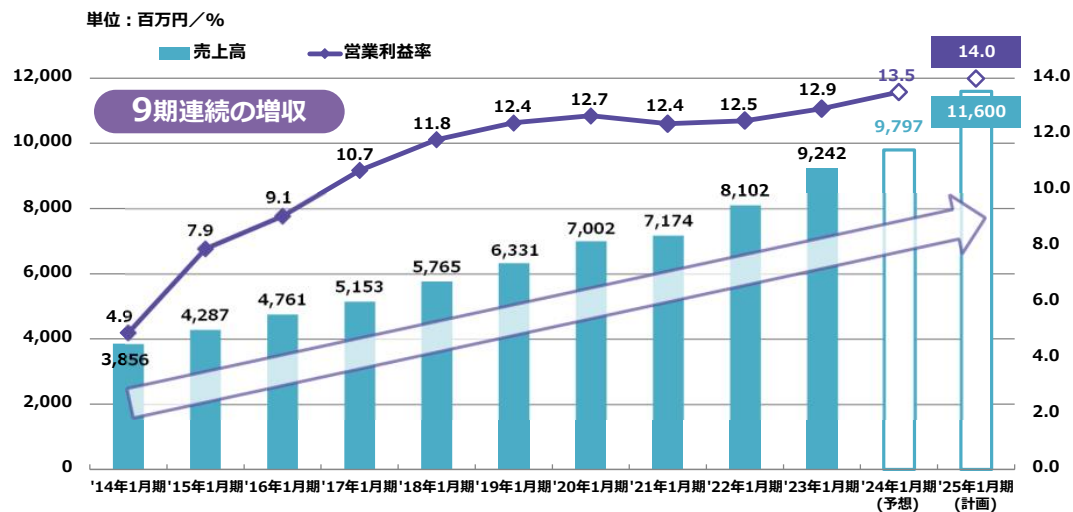
経営数値目標（2025年1月期）売上高／営業利益率

売上高

116 億円

営業利益率

14.0 %

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

12

- これら代表的な3要素が、当社の9期連続の増収・増益を支えている要因であります。

- 1 9期連続 増収・増益 2桁成長 P3
- 2 第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要 P13
- 3 プライム市場の上場維持基準達成への進捗 P25
- 4 安定的かつ継続的な配当の実施 P39
- 5 参考資料 P43

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

13

- 次に、第62期（'24年1月期）第1四半期決算概要についてご説明申し上げます。

第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要 総括

市場環境

- 景気は、ウィズコロナの下で、緩やかに持ち直し。主要顧客であるメーカーは、引き続き、研究開発予算を増額傾向。
- 自動車業界は、2050年へのカーボンニュートラル対応、CASE等の技術革新の真ただ中にあり、当社への技術者要請が旺盛。

技術者派遣事業の状況

- 稼働人員が前期を上回る。
技術者数が増加。技術者ニーズの回復基調により稼働率が高水準で推移。
- 技術者単価が前年同期を上回る。
技術者の業務実績を踏まえた顧客企業との単価交渉。
- 労働工数が前年同期と同水準。

費用の状況

- 未配属者の配属進捗➡販売管理費の労務費減少、売上原価が増加。
技術者の労務費に関して、顧客企業に配属前の未配属者は販売管理費で計上し、配属後は売上原価で計上。
- 販売管理費が微増。
4月入社の新卒技術者の前年比減により労務費が減少、キャリア採用の進捗遅れにより紹介手数料が減少したものの採用・営業活動の回復に伴い採用費、旅費交通費等が増加。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

14

- まずはじめに、決算概要の総括です。
- 市場環境におきましては、景気はウィズコロナ下で緩やかに持ち直してきております。
- 主要顧客であるメーカーは、引き続き研究開発予算を増額傾向で推移しました。
- 特に当社の主要取引先である自動車業界は、2050年へのカーボンニュートラル対応、また、CASE等の技術革新の真ただ中にあり、当社への技術者養成が旺盛で推移しました。
- 次に、技術者派遣事業の状況です。
- 稼働人員が前期を上回りました。
- 技術者単価が前年同期を上回りました。
- 労働工数については、前年同期水準で推移いたしております。
- 最後に、費用の状況についてご説明します。
- 費用の状況につきましては、未配属の配属進捗が進捗したことにより、販売管理費が減少いたしました。
- その他、販売管理費につきましては、採用強化対策により管理費が微増しております。

第62期（'24年1月期）第1四半期 業績ハイライト

■ 売上高11.7%増、営業利益26.4%増、
経常利益26.4%増、四半期純利益26.5%増。営業利益率19.2%

	'23年1月期 第1四半期		'24年1月期 第1四半期		前年 増減値 (百万円)	前年 増減率 (%)
	実績 (百万円)	百分比 (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)		
売上高	2,232	100.0	2,493	100.0	261	11.7
売上原価	1,387	62.1	1,528	61.3	141	10.2
売上総利益	845	37.9	965	38.7	120	14.2
販管費	467	20.9	487	19.5	20	4.3
営業利益	378	16.9	477	19.2	99	26.4
経常利益	379	17.0	479	19.2	100	26.4
四半期純利益	263	11.8	333	13.4	70	26.5

■ 技術者数が増加
■ 稼働率が高水準で推移
■ 稼働人員が増加

■ 未配属者の配属が進捗
■ 販管費の労務費が減少し、
売上原価が増加

■ 労務費、紹介手数料は
減少したものの、
採用・営業活動の回復に
伴い採用費等が増加

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

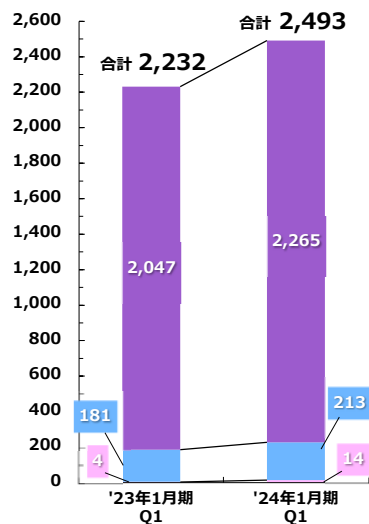
15

- それらの結果、第62期（'24年1月期）第1四半期の業績ハイライトです。
- 売上高は、前年同期比11.7%の増。
- 営業利益は、26.4%の増。
- 経常利益は、26.4%の増。
- 四半期純利益は、26.5%の増。
- 営業利益率は、19.2%となりました。
- 増収・増益の主要因としては、技術者在籍数の増加、稼働率が高水準で推移したことにより、稼働人員が増加いたしました。

第62期（'24年1月期）第1四半期 事業別 売上高

■ 技術者派遣10.7%増、 ■ 請負・受託18.0%増／構成比8.6%

単位：百万円



	'23年1月期 第1四半期		'24年1月期 第1四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
技 術 者 派 遣	2,047	91.7	2,265	90.9	10.7	▲0.8
請 負 ・ 受 託	181	8.1	213	8.6	18.0	0.5
小 計	2,228	99.8	2,479	99.4	11.3	▲0.4
そ の 他	4	0.2	14	0.6	218.8	0.4
合 計	2,232	100.0	2,493	100.0	11.7	—

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

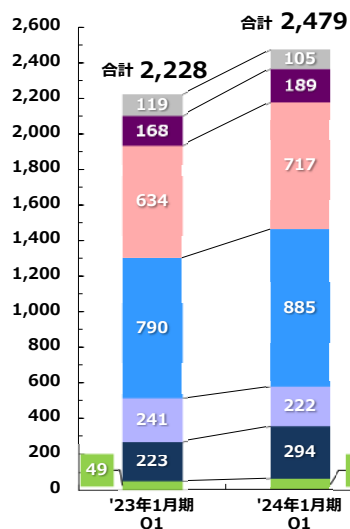
16

- 次に、事業別の売上高の状況です。
- 技術者派遣事業は、10.7%の増
- 請負・受託事業は、18.0%の増。
- 請負・受託事業の構成比は、8.6%まで上昇しております。

第62期（'24年1月期）第1四半期 業種別 売上高

■ 電気機器13.1%増、■ 輸送用機器12.0%増、■ 精密機器8.2%減、
■ 情報・通信31.4%増

単位：百万円



	'23年1月期 第1四半期		'24年1月期 第1四半期		前年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)		
鉄鋼・非鉄・金属	119	5.3	105	4.3	▲11.1	▲1.1
機械	168	7.6	189	7.6	12.1	0.1
電気機器	634	28.5	717	29.0	13.1	0.5
輸送用機器	790	35.5	885	35.7	12.0	0.2
精密機器	241	10.9	222	9.0	▲8.2	▲1.9
情報・通信	223	10.1	294	11.9	31.4	1.8
諸業種	49	2.2	64	2.6	32.1	0.4
合 計	2,228	100.0	2,479	100.0	11.3	—

※「その他」売上除く

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

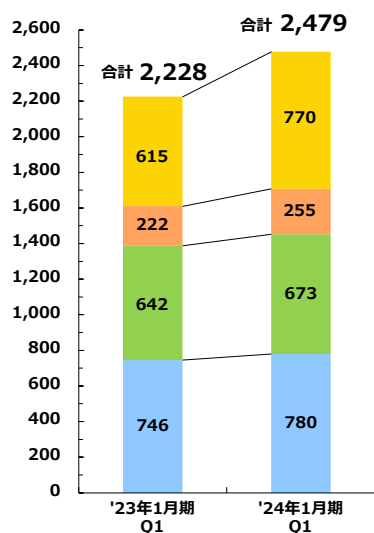
17

- 次に、業種別の売上高の状況です。
- 電気機器が、13.1%の増。
- 輸送用機器で、12.0%の増。
- 精密機器で、8.2%の減。
- 情報通信で、31.4%の増となっています。
- 現在、当社は、自動車関連事業会社、および、半導体製造装置関連事業会社に積極的に配属展開を実施しています。
- その関係で、業種別のこのような増減比率になっています。

第62期（'24年1月期）第1四半期 分野別 売上高

■ エンベデッド・モデルベース25.1%増、 ■ ITソリューション14.6%増、
■ 電気・電子4.8%増、 ■ 機械4.5%増

単位：百万円



	'23年1月期 第1四半期		'24年1月期 第1四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
エンベデッド・モデルベース	615	27.6	770	31.1	25.1	3.4
ITソリューション	222	10.0	255	10.3	14.6	0.3
電 気 ・ 電 子	642	28.8	673	27.2	4.8	▲ 1.7
機 械	746	33.5	780	31.5	4.5	▲ 2.1
合 計	2,228	100.0	2,479	100.0	11.3	—

※「その他」売上除く

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

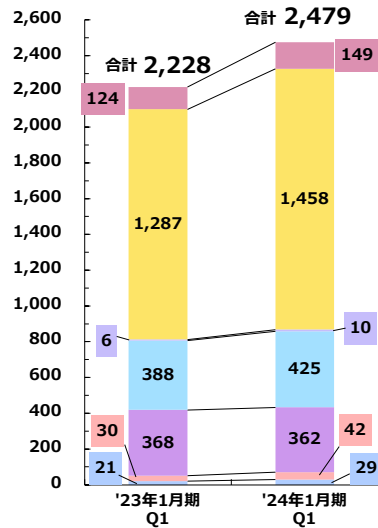
18

- 次に、職種分野別の売上高の状況です。
- エンベデッド・モデルベース、25.1%増。
- ITソリューション、14.6%増。
- 電気・電子、4.8%増。
- 機械、4.5%増となっています。
- 特に、エンベデッド・モデルベースのソフトウェア分野におきましては、自動車関連業界、半導体製造装置関連業界からエンジニアのニーズが引き続き旺盛で推移いたしました。

第62期（'24年1月期）第1四半期 地域別 売上高

■ 関東13.3%増、■ 東海9.6%増、■ 近畿1.6%減

単位：百万円



	'23年1月期 第1四半期		'24年1月期 第1四半期		前 年 増減率 (%)	構成比 差 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
東 北	124	5.6	149	6.0	19.7	0.4
関 東	1,287	57.8	1,458	58.8	13.3	1.1
北 陸	6	0.3	10	0.4	73.2	0.2
東 海	388	17.4	425	17.2	9.6	▲ 0.3
近 畿	368	16.5	362	14.6	▲ 1.6	▲ 1.9
中 国	30	1.4	42	1.7	36.8	0.3
九 州	21	1.0	29	1.2	37.5	0.2
合 計	2,228	100.0	2,479	100.0	11.3	—

※「その他」売上除く

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

19

- 次に、地域別売上高の状況です。
- 関東、13.3%増。
- 東海、9.6%増。
- 近畿、1.6%減となりました。
- 関東に占める売上の構成比率の割合は、58.8%増となっています。

技術者派遣事業の売上高、費用、利益率向上の考え方

■ 売上高



■ 売上原価 顧客企業に配属中の技術者の労務費等

■ 販売管理費 社内にて教育研修（待機）中の技術者の労務費、
スタッフ職の労務費、求人広告費等

利益率向上の2つのポイント

【売上総利益率の向上】

1人当たりの技術者単価の上昇が必要。

【営業利益率の向上】

技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、
販管費率の上昇を抑える。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

20

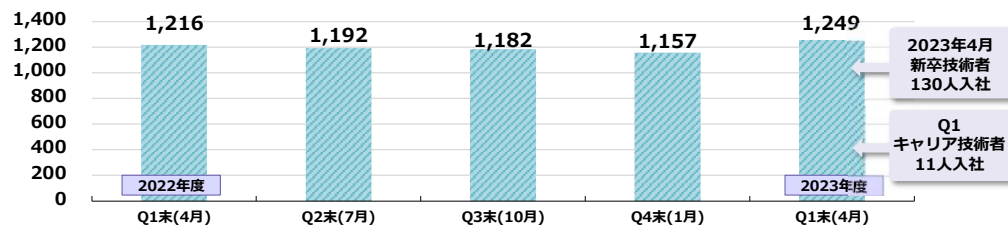
- 続きまして、技術者派遣事業の売上高、費用、利益率向上の考え方について、ここで整理をさせていただきたいと思います。
- 技術者派遣事業の売上高の構成要素は、次のとおりです。
- 技術者数に稼働率を掛けたものが稼働人員となります。
- 稼働人員に技術者の1人当たりの時間単価を掛けます。
- そして技術者の労働工数を掛けたもの、その総数が売上高となります。
- 次に費用です。
- 売上原価は顧客企業に配属中の技術者の労務費が計上されています。
- 販売管理費は社内にて教育研修、待機中の技術者の労務費およびスタッフの労務費、また求人広告費と活動経費が販売管理費に計上されます。
- 従いまして、利益率向上の2つのポイントとしまして、まず売上総利益率の向上につきましては、1人当たりの技術者単価の上昇が必要となっております。
- 次に、営業利益率の向上につきましては、技術者の増員に伴う間接部門の増員を管理効率の向上により抑え、販売管理費の上昇を抑えます。
- また、加えまして、稼働率を上昇させることにより、研修・待機者の労務費を抑制することが必要となります。

第62期（'24年1月期）第1四半期 期末技術者数／稼働率

期末技術者数

'23年1月期(平均)第1四半期	'24年1月期(平均)第1四半期	前年増減値(人)	前年増減率(%)
1,113	1,177	64	5.7

単位：人

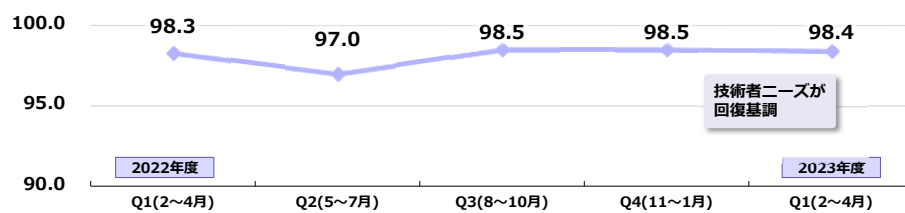


稼働率

※技術者派遣の数値

'23年1月期(平均)第1四半期	'24年1月期(平均)第1四半期	前年増減値(pt)
98.3	98.4	0.1

単位：%



※ 新入社員等の期中入社者は、配属までは含んでおりません。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

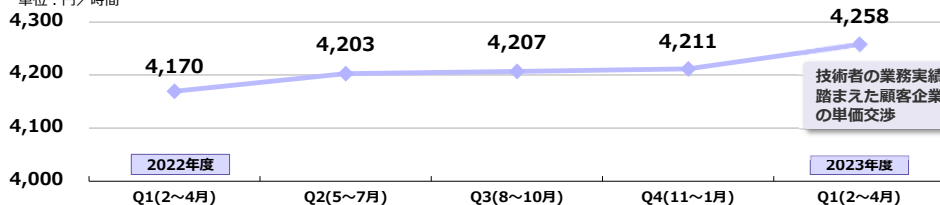
21

- それらを踏まえまして、2024年1月期第1四半期の売上構成要素について、ご報告をします。
- まず、期末技術者数1,177名。
- 前年同期比64名のプラスです。
- 稼働率98.4%。
- 前年同期比0.1ポイントの改善。

第62期（'24年1月期）第1四半期 技術者単価／労働工数

技術者単価

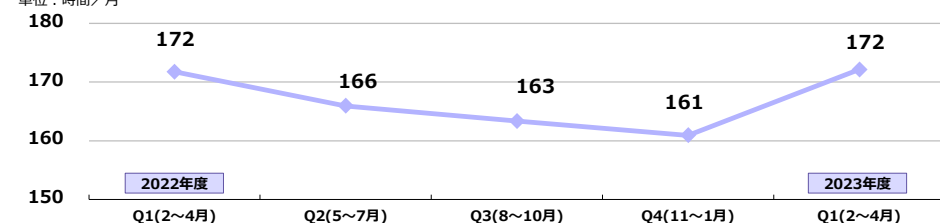
※技術者派遣の数値 ※1人当たり
単位：円／時間



'23年1月期(平均)第1四半期	'24年1月期(平均)第1四半期	前年増減値(円)	前年増減率(%)
4,170	4,258	88	2.1

労働工数

※技術者派遣の数値 ※1人当たり
単位：時間／月



'23年1月期(平均)第1四半期	'24年1月期(平均)第1四半期	前年増減値(h)	前年増減率(%)
172	172	0	0.2

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

22

- 技術者単価4,258円。
- 前年同期比88円のプラスです。
- 労働工数、月平均172時間です。
- 前年同期比プラスマイナスゼロとなりました。

- 1 9期連続 増収・増益 2桁成長 P3
- 2 第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要 P13
- 3 プライム市場の上場維持基準達成への進捗 P25
- 4 安定的かつ継続的な配当の実施 P39
- 5 参考資料 P43

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

23

- 続きまして、プライム市場の上場維持基準達成への進捗状況についてご報告をします。

上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

■ プライム市場の上場維持基準への適合状況の推移

基準を充たしていない

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
	上場維持基準	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
当 社 の 状 況	移行基準日 (21.6.30)時点	49,748単位	41億円	46.8%	0.28億円
	2023年 1月末時点	74,096単位	75億円	69.7%	0.53億円

※直近(2023年6月13日時点) 株価1,732円、流通株式時価総額128億円

■ 計画期間

中期経営計画の最終年度となる2025年1月期までに、
「流通株式時価総額」の上場維持基準を充たすため、
引き続き、各種取組を進めていく。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

24

- 当社は、移行基準日2021年6月30日時点で、流通株式時価総額100億円基準に対して41億円で未充足となりました。
- 従いまして、当社の現状は、プライム市場に条件付きの上場会社と認定されています。
- 41億円の流通株式時価総額は、2023年1月末時点で75億円まで改善しています。
- その要因は株価の上昇に加え、流通株式比率を46.8%から69.7%まで上昇させたことによるものです。
- 参考で、直近2023年6月13日時点におきましては、株価1,732円、流通株式時価総額128億円となっております。
- 計画期間としましては、2025年1月期までに、流通株式時価総額の上場維持基準を満たすための計画を東京証券取引所に提出しております。
- 現在、128億円の流通株式時価総額で推移しておりますので、業績を向上させるとともに、積極的なIR・PR活動を通じて、株価の向上に努めていきたいと考えております。

流通株式時価総額の適合に向けたKPIの必須条件／進捗状況

■KPIの必須条件／実績

	移行基準日 時点	2023年 1月末時点	必須条件		2022年 1月末時点	2023年 1月末時点	必須条件
流通株式比率	46.80%	70%	70%	PER	12.7倍	11.8倍	15.0倍
流通株式数	4,974千株	7,410千株	7,439千株	1株当たり 当期純利益 (EPS)	68.59円	84.24円	93.34円
				株価	858円(※)	997円	1,400円

2022年4月
株式の売出し

※移行基準日時点



※直近(2023年6月13日時点) 株価1,732円、流通株式時価総額128億円

■進捗状況

移行基準日時点より、2023年1月末時点で、
流通株式時価総額は82.9%増加。株価は16.2%上昇。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

25

- それらを要約しました、株式時価総額の適合に向けたKPIの必須条件です。
- 特に、必須条件の株価につきましては、理論数値1,400円が、100億円に必要な最低の株価となっております。

KPIの必須条件達成のための実施施策・評価、今後の課題

■ 流通株式比率の引き上げ



株式売却に向けた大株主との協議等、既存株主の保有株式流動化を通じて一定の流通株式数を確保。

⇒ 2022年4月 株式の売出しを実施し、70%まで引き上げ済

■ 1株当たり当期純利益(EPS)の拡大



- ① 事業活動の柱に「カーボンニュートラル」を据えて、採用・教育・営業の社内体制を構築し、事業規模拡大を目指す
- ② 新たな専門技術領域(化学、土木建築等)獲得を目的としたM&A等の実施

⇒ 前期比22.8%増。引き続き93.34円を目指す。

■ 株主還元の拡大



配当性向

30%をベース ➡ 50%に引き上げ

⇒ 2022年1月期より実施済

検討事項

総還元性向

自社株買い

⇒ 状況を勘案し、適宜、検討

■ 資本効率の向上

ROE

20%以上(2018年1月期実績26.9%を目指す)

⇒ 23.5%。実績更新を目指す

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

26

- KPIの必須条件達成のための実施施策、評価、今後の課題についてご紹介をさせていただきます。
- まず、流通株式比率の引き上げにつきましては、2022年4月に株式の売り出しにより、現在約70%まで引き上げが完了しています。
- 1株当たりの当期純利益(EPS)の拡大につきましては、今中期経営計画の成長戦略を実施することにより、93.34円までのEPSを目指してまいります。
- 株主還元の拡大につきましては、配当性向30%ベースを50%に引き上げてまいりたいと思います。
- これは既に2022年1月期より実施済みでございます。
- 加えまして、検討事項といたしましては、総還元性向、自社株買い等も臨機応変に検討していきたいと考えています。
- 資本効率の向上につきましては、20%以上を想定し、2018年1月期実績の26.9%を目指してまいります。

KPIの必須条件達成のための実施施策・評価、今後の課題(IR)



■ 個人・機関投資家への情報発信の強化

- 個人・機関投資家を対象とした説明会を開催(オンライン or 対面)
(個人投資家向け：年2回⇒3~4回、機関投資家向け：年1回⇒年2回)
- 機関投資家とのワンオンワンミーティング(電話 or オンライン)

⇒ 2023年1月期は計画数を開催。認知度が向上(アンケート調査)。引き続き2023年1月期と同数を実施。



■ 外国人投資家を意識した英文開示の推進

- Webサイトの主なページ、招集通知、コーポレートガバナンス報告書、決算短信サマリー等

⇒ 2023年1月期は計画通りの英文開示を実施。
引き続き2023年1月期と同様の開示を実施。



■ 「コーポレートガバナンス・コード」(2021年6月版)の対応

⇒ 2023年1月期よりTCFD開示等を実施。
引き続きコーポレートガバナンスを意識した開示を実施。



■ 非財務情報の発信

2024年1月期より追加

- 統合報告書の制作
- ESG評価機関を意識した情報発信の推進

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

27

- 更に、個人・機関投資家への情報発信の強化によりアルトナーの認知度を高めていきたいと考えています。
- また、外国人投資家を意識した英文開示の推進やコーポレートガバナンスコードへの対応。
- また、非財務情報の発信を積極的に推進してまいります。

中期経営計画（'23年1月期～'25年1月期）

基本方針

『 持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する 』
『 Make Value for 2022 to 2024 』

基本施策

1 セグメント戦略の推進

- ・ セグメント別戦略の構築（採用-教育-配属-制度）
- ・ セグメント別マーケットへの対応の確立
- ・ 新たな専門技術領域の開拓・模索

2 多種多様な人財活用の推進

- ・ シニア・女性・外国人労働者（留学生）の人財活用
- ・ 協力会社の活用・組織化（請負・受託体制の確立）

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

28

- 次に、中期経営計画（'23年1月期～'25年1月期）。
- 基本方針は、『持続的成長および次世代成長のための基盤を構築する』。
- 基本施策 1.セグメント戦略の推進、2.多種多様な人財活用の推進です。

アルトナーの持続的成長および次世代成長の考え方

地球規模で社会環境が変化していく中で、企業にとって、
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に基づく取り組みなど
社会的課題への対応が重要な経営課題

当社は事業活動の柱に「カーボンニュートラル」を据えて、
採用・教育・営業の社内体制を構築

事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値を向上させ、
ステークホルダーの皆様へ還元
持続的成長および次世代成長の基盤構築を進めていく

「カーボンニュートラル」の取り組みの方向性

当社の主要顧客である自動車業界等に対して

走行時にCO₂を排出しないEV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)、
インフラ(充電インフラ、水素ステーション)、自動運転、半導体等に
関連する開発プロジェクトへの当社のエンジニアの参画

開発の進展、市場での普及を目指す

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

29

- アルトナーの持続的成長および次世代成長の考え方としては、特に自動車関連メーカーが現在重要なテーマになっているCO₂削減、「カーボンニュートラル」関連プロジェクトに積極的にエンジニアを配属し、更なる付加価値向上を目指してまいります。

「カーボンニュートラル」に対する採用・教育・営業の取り組み



採用

採用対象

- 電気・電子、材料物性、エネルギー、情報分野の学科を卒業した学生
- 上記分野のスキル、経験を有する社会人経験者

マッチング人材の採用強化のため、新卒採用に偏重の採用方針を変更。⇒ **新卒・キャリアの採用数をバランスさせ、人材の確保に努める**

新卒・キャリア採用における「カーボンニュートラル」採用対象の構成比

	2025年1月期 (目標)	2023年1月期 (実績)
新卒	55.0%	46.1%
キャリア	55.0%	62.0%

教育

研修内容

- 「EV、FCVの動力系(インバータシステム)の原理解理解」
- 「クラウド化によるインフラリソースとAI/機械学習による人・ものの流れの最適化」
- 「EVのバッテリーマネジメントシステムのモデル設計、検証」
- 「センサー類の特性評価の結果解析手法」
- 「ケミカルリサイクルとマテリアルリサイクル」

益々、高まるソフトウェア、電気・電子領域のエンジニアニーズに応える。⇒ **研修スタッフを増強**

「カーボンニュートラル」のプロジェクトに配属
社会的課題の解決に貢献し、業績を向上させる

技術者単価が他のプロジェクト比で**約10%プラス**
⇒ **売上高、利益率が向上**

配属中の技術者における「カーボンニュートラル」のプロジェクトの技術者の構成比

	2025年1月期 (目標)	2023年1月期 (実績)
	50.0%	46.1%

営業

<https://www.artner.co.jp/>

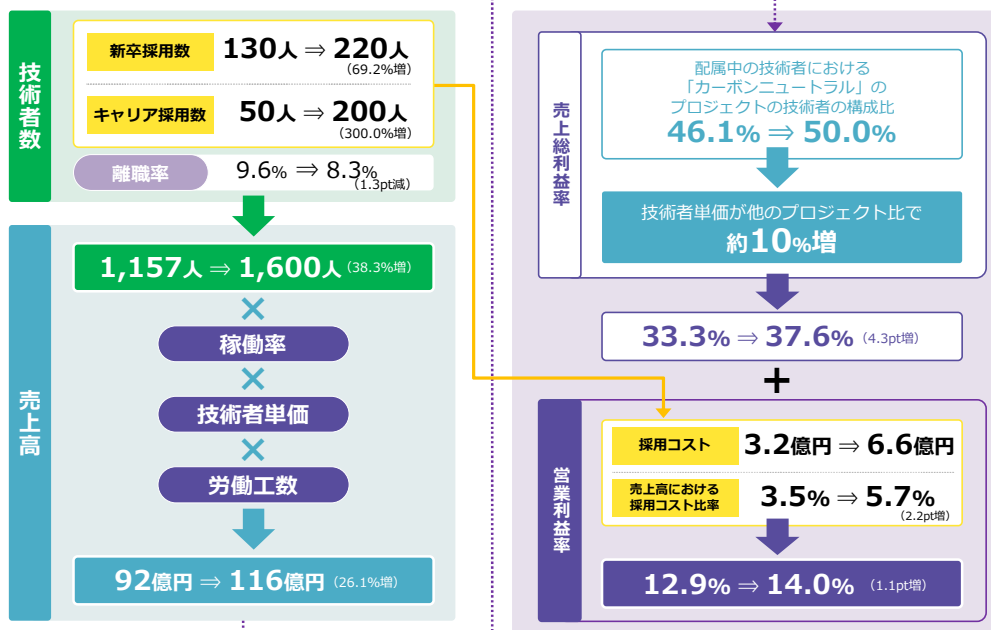
Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

30

- 「カーボンニュートラル」に対する採用、教育、営業の取り組みについてです。
- 採用・教育・営業、それぞれ採用計画、教育体制、営業の配属目標を設定しております。

中期経営計画 業績目標と重要指標の相関図

※ □⇒□… (2023年1月期) ⇒ (2025年1月期) の数値

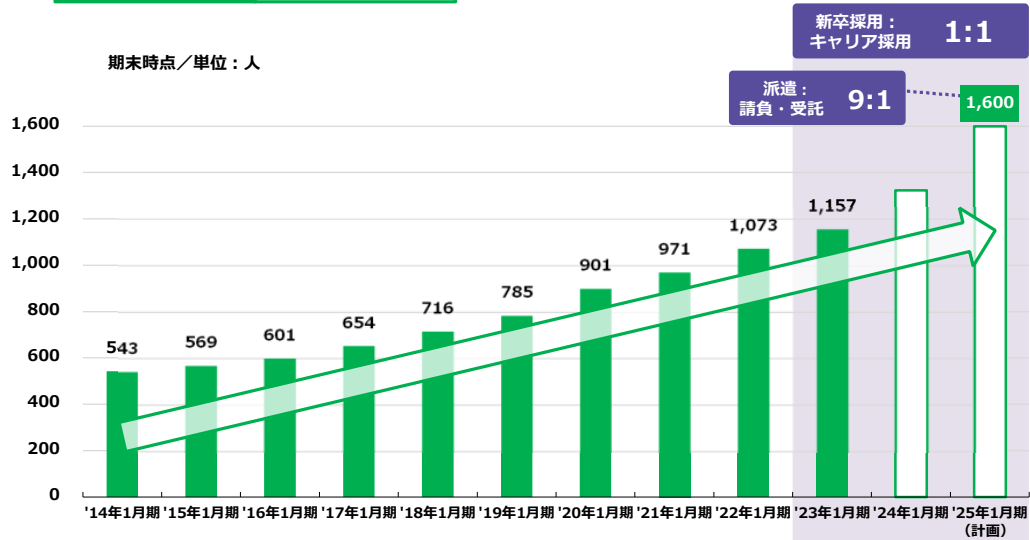


Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

31

- 中期経営計画業績目標と重要指標の相関図です。
- 積極的な増員計画に伴い採用コストは上昇いたしますが、「カーボンニュートラル」関連プロジェクトへの積極的なエンジニアの配属により、付加価値、技術者単価の上昇を見込み、売上総利益率が上昇する見込みであります。
- それらの利益上昇によって増加する採用コストを吸収し、最終、営業利益率を12.9%から14%へ。
- また、人員数の増加、稼働率、技術者単価、労働工数を改善、向上させ、92億円の売上高を116億円まで達成したいと考えております。

経営数値目標（2025年1月期）技術者数

技術者数 1,600 人

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

32

- 技術者数1,600名の年度別推移です。
- 加えて、派遣、請負事業の比率を9:1で構成したいと考えております。
- 今中期計画の最大目標であります採用について、新卒採用、キャリア採用の採用バランスを1:1まで均衡させていきたいと考えております。

技術者数1,600人 達成に向けた取り組み

新卒採用

2024年4月入社／目標220人（前期130人より69.2%増）

2024年1月期 見込み》

スタッフ数 **35.7%増** ↑投資費用 **48.3%増** ↑

採用活動

- 大学教授への紹介依頼(全国の理工系大学への定期訪問、採用実績校への積極訪問)
- 大学OBの当社エンジニアによる大学研究室セミナー(対面、オンライン)の実施
- Web媒体の活用／学外合同企業説明会に出展／留学生イベントに出展
- 人材紹介会社の活用／社員紹介制度の活用
- 産学連携(各種学会への参加、大学での非常勤講師等)による大学教授、大学就職課との関係作り
- インターンシップの実施(知名度の向上、就職活動の開始後のエントリー数の向上)

キャリア採用

2024年1月期入社／目標180人（前期50人より260%増）

2024年1月期 見込み》

スタッフ数 **71.4%増** ↑投資費用 **112.5%増** ↑

採用活動

- 通年採用で、経験者だけでなく既卒未経験の優秀な人材も積極的に採用
- 人材紹介会社の活用／Web媒体の活用／社員紹介制度の活用／ハローワークの活用
- 転職フェアに出展
- キャリア採用専用Webサイトの開設
- スタッフ数の増加とスキルアップにより、内定承諾率を向上させる。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

33

- 技術者1,600人達成に向けた各種取り組みです。
- 新卒採用、並びに、キャリア採用の取り組みとなっています。
- 技術者数1,600人達成に向けた取り組み、採用活動全般でのPR内容や離職率の改善についてまとめさせていただいております。

技術者数1,600人 達成に向けた取り組み

採用活動全般でのPR内容

■ 仕事、環境の提供

エンジニアに良い仕事、良い教育環境を用意し、安心して働ける給与を含めた福利厚生を充実させていく。
キャリアパス、スキルアッププランを用意していく。

■ ジョブ型雇用

上流、中流、下流の工程のプロジェクトを用意し、入社して中流からキャリアをスタートし、プロジェクトを移行することで、上流へのキャリアアップを自社内で完結することができる。

■ 転職支援制度による同業他社との差別化

転職支援制度が「魅力的だった」と入社者アンケートで約8割が回答。
就職活動時に同業他社との比較で有効に働く。

離職率の改善

コロナ禍において、プロジェクトが終了し、アルトナーに研修復帰するエンジニアが例年より増加したため、離職率が上がったが、コロナ禍からの回復に伴い、例年の水準への離職率の改善が見込まれる。

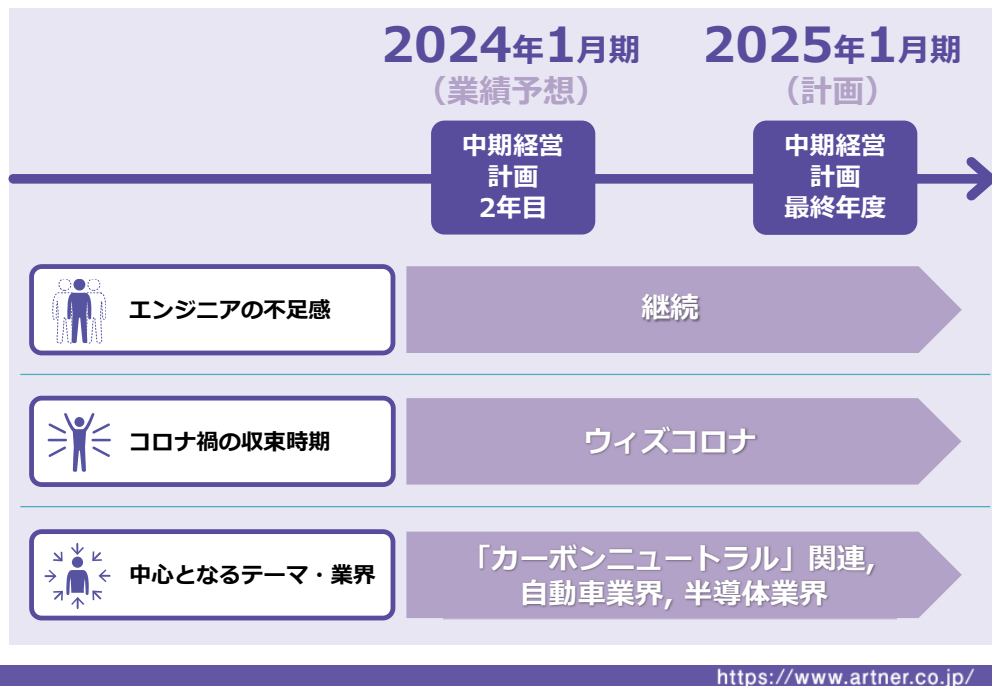
営業担当者が定期的にエンジニアを訪問、または、オンライン面談を実施し、コミュニケーションを密にとる。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

34

事業環境の予測



Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

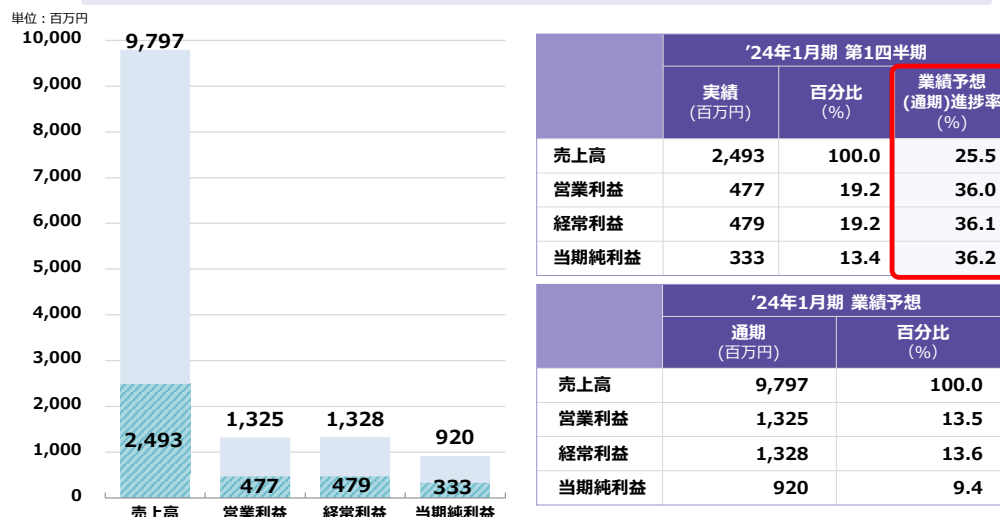
35

- 次に、事業環境の予測につきましては、エンジニアの不足感は継続する前提で計画しております。
- コロナ禍につきましては、ウィズコロナ、または、既にアフターコロナの状況に移行しています。
- 事業の中心となるテーマ、業界につきましては、「カーボンニュートラル」関連、自動車業界や半導体製造装置業界を戦略ターゲットとしてまいります。
- キャリア採用の通期計画180名に対しまして、第1四半期の実績は11名でありましたが、技術者単価の上昇、新卒技術者の前倒し配属により、業績予想の達成を見込んでおります。

第62期（'24年1月期）第1四半期 業績予想の進捗

■ 業績予想(通期)に対して、第1四半期実績の進捗率は、
売上高25.5%、営業利益36.0%、経常利益36.1%、当期純利益36.2%

※ キャリア採用の通期計画180人に対して、第1四半期実績は11人であったが、技術者単価の上昇、新卒技術者の前倒し配属により、業績予想の達成を見込む。


<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

36

- 通期業績予想につきましては、売上高9,797百万、営業利益1,325百万、経常利益1,328百万、当期純利益920百万を計画しております。

- 1 9期連続 増収・増益 2桁成長 P3
- 2 第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要 P13
- 3 プライム市場の上場維持基準達成への進捗 P25
- 4 安定的かつ継続的な配当の実施 P39
- 5 参考資料 P43

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

37

- 続きまして、安定的かつ継続的な配当の実施についてです。

第62期（'24年1月期）配当予想

 配当性向 **50%をベース** '24年1月期(予想)**73.9%**

- 今期の配当は、現時点での業績予想等を考慮し、
 普通配当64円(中間32円、期末32円)を予定。(普通配当において**21円増配**)

	年間配当金 (円)					配当 利回り (%)	配当 性向 (%)	純資産 配当率 (DOE) (%)
	普通配当			記念配当	合計			
	中間	期末	計					
'23年1月期	20.00	23.00	43.00	17.00	60.00	6.02	71.2	16.7
'24年1月期(予想)	32.00	32.00	64.00			4.76	73.9	

※配当利回り(%) = 1株当たり個別配当金(合計) ÷ 株価(期末/終値) × 100

'23年1月期 期末(2023年1月31日)終値 997円 / '24年1月期第1四半期 期末(2023年4月28日)終値 1,344円

<https://www.artner.co.jp/>

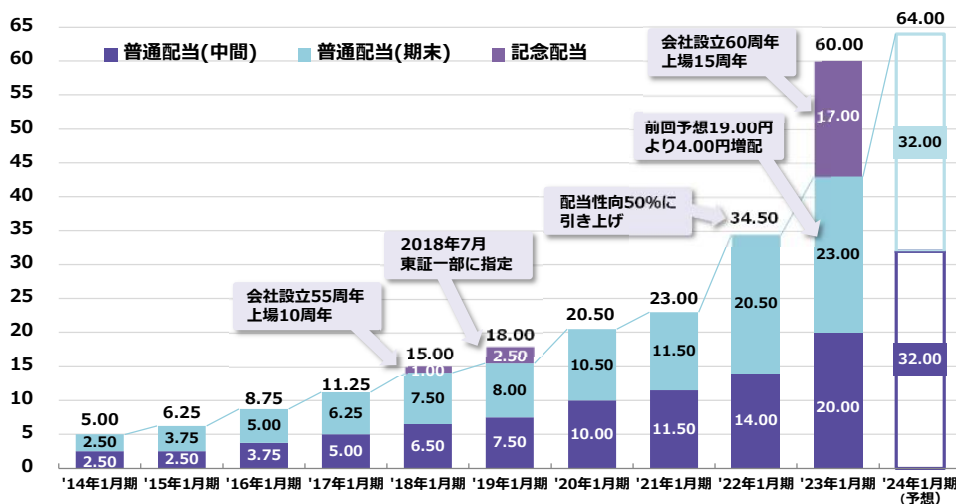
Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved 38

- 当社の配当性向は50%ベースを前提としております。
- しかしながら、2024年1月期の配当性向予想は、73.9%となっています。
- 今期の配当は現時点での業績予想を考慮し、普通配当64円、中間32円、期末32円を予定しております。
- なお、普通配当においては、前年対比21円の増配予想となっています。

1株当たり年間配当金

9期連続の増配

■ 株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施することが経営の最重要課題。 単位：円



1株当たり配当金は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2017年2月1日(1株を2株に分割)／2018年4月1日(1株を2株に分割)

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

39

- 1株当たりの年間配当金の推移です。
- 昨年2023年1月期につきましては、上期20円、下期23円の合計43円の普通配当に加え、会社設立60周年、上場15周年の記念配当17円を加え、合計60円の配当実績でございました。

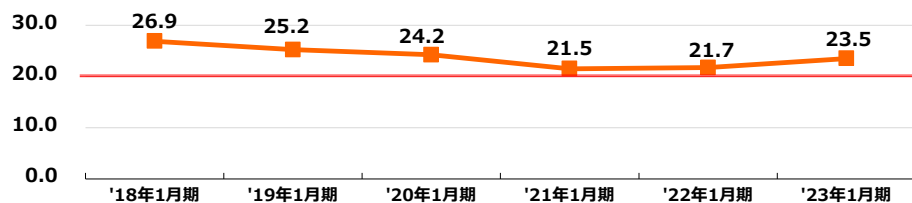
経営数値目標（2025年1月期）ROE／配当性向

ROE

20 %以上

(2018年1月期実績**26.9%**を目指す)

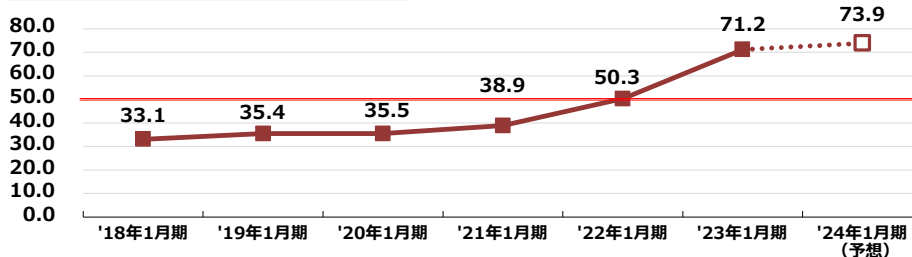
単位：%



配当性向

50 %以上

単位：%

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

40

- 経営の数値目標です。まず、ROE20%以上、目標26.9%を目指してまいります。
- 配当性向50%以上の配当を目指してまいります。

インベストメントハイライト



- | | | |
|---|-------------------------|-----|
| 1 | 9期連続 増収・増益 2桁成長 | P3 |
| 2 | 第62期（'24年1月期）第1四半期 決算概要 | P13 |
| 3 | プライム市場の上場維持基準達成への進捗 | P25 |
| 4 | 安定的かつ継続的な配当の実施 | P39 |
| 5 | 参考資料 | P43 |

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

41

- 最後に参考資料を付けておりますので、またご覧ください。
- 参考資料のうち抜粋して、ご説明をさせていただきます。

■ 社 是

精神の追求

智識の追求

創造の追求

■ 経営理念

「エンジニアサポートカンパニー」

－ 私達は技術者の夢をサポートします －

人をつくり 技術を育み 技術者を通じ社会に貢献し
全従業員の幸福と会社の反映を目指します

■ 社名の由来

ART
より優れたクオリティを
追求する「Art」

+

ARTNER

+

PARTNER
顧客の信頼に応える
「Partner」<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

42

- まず、当社の社是、経営理念、社名の由来です。
- 経営理念につきましては、「エンジニアサポートカンパニー -私達は技術者の夢をサポートします- 人をつくり 技術を育み 技術者を通じ社会に貢献し 全従業員の幸福と会社の反映を目指します」

パーパス



日本が世界に誇る財産である エンジニアの成長、自己実現をサポートする。

資源が乏しい日本において、エンジニアは世界に誇る財産です。
アルトナーは、エンジニアの成長、自己実現を
サポートするプラットフォームです。
アルトナーは、エンジニアをアルトナーの財産としてだけでなく、
日本の共有財産と捉えて、育んでいきます。

人財の流動化やダイバーシティなど、労働を取り巻く環境、
働く意識が急速に変化する中、アルトナーは、エンジニアの働く幸福を追求し、
“エンジニアの生き方”の新しいモデルを創ります。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

43

- 次に、パーパスです。
- アルトナーの社会的存在意義についてです。
- 日本が世界に誇る財産であるエンジニアの成長、自己実現をサポートする。
- 資源が乏しい日本において、エンジニアは世界に誇る財産です。アルトナーはエンジニアの成長、自己実現をサポートするプラットフォームです。アルトナーはエンジニアをアルトナーの財産としてだけでなく、日本の共有財産と捉えて、育んでいきます。人財の流動化やダイバーシティなど労働を取り巻く環境、働く意識が急速に変化する中、アルトナーはエンジニアの働く幸福を追求し、エンジニアの生き方の新しいモデルを創ります。

パーパス実現に向けて

ミッション

「エンジニアサポートカンパニー」として、
“エンジニアの生き方”の新しいモデルを創っていく。

ビジョン

エンジニアの「質」を高め、10年以内に業界No. 1の
高付加価値の技術者集団を目指す。
そして、アルトナーが輩出した人財がモノづくりを
支えていく。

バリュー

エンジニアは、自らが必要なものを選択し、
幸福をつかみ取るための努力を惜しまない。
アルトナーは、エンジニア一人一人のキャリアアップ、
スキルアップをサポートし、希望や適正に合わせて、
幅広いプロジェクトを用意する。

<https://www.artner.co.jp/>

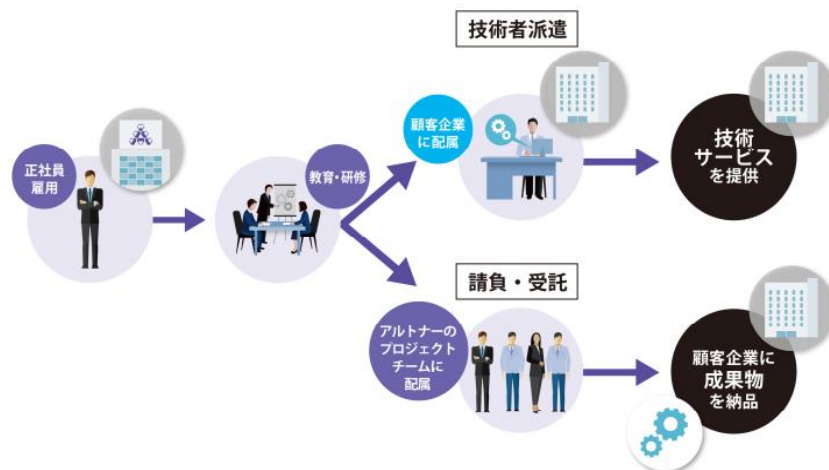
Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

44

- パーパス実現に向けてのミッション、ビジョン、バリューです。

ビジネスモデル

- 理系(工学部、理工学部、理学部、情報工学部)の大学生、大学院生、高専生、専門学生を正社員雇用。教育・研修を実施後、顧客企業または当社チームに配属
- 研修スタッフは、経験豊富な技術者出身
- 顧客企業は、輸送用機器、電気機器、精密機器メーカー、情報・通信会社

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

アルトナーの雇用形態

- アルトナーの雇用形態である「無期雇用派遣」のエンジニアは「正社員雇用」されているので、1つの派遣業務が終了しても雇用関係は継続。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

技術領域

ソフトウェア

対応分野

エンベデッド
ITソリューション
モデルベース

IoT機器に組み込まれるソフトウェアやネットワークシステムのアプリケーションソフトウェアの開発を行う。



電気・電子

対応分野

電気機器
電子回路
電子デバイス

機器や装置の心臓部となる回路基板設計、信頼性評価を行う。



機械

対応分野

駆動システム
機構
構造・素材

2D・3D CADを使用して、機械が動く仕組みの設計を行う。



<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

顧客企業（業種別、50音順、敬称略）

■ 安定した経営のため、幅広い業種の顧客企業と取引。

輸送用機器

SUBARU、トヨタ自動車、日産自動車、ボッシュ、ホンダ 他

電気機器

オムロン、東京エレクトロン、パナソニック、レーザーテック 他

精密機器

島津製作所、テルモ、ニコン 他

機 械

SMC、小松製作所、ジェイテクト 他

情報・通信

日立ハイシステム21 他

株式上場企業及び優良中堅企業 取引実績約1,000社<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

48

第61期（'23年1月期）顧客企業 売上高上位10社

■ 売上高 上位10社（敬称略）

	'22年1月期		'23年1月期	
	顧客企業	業 種	顧客企業	業 種
1	本田技術研究所	輸送用機器	本田技研工業	輸送用機器
2	本田技研工業	輸送用機器	本田技術研究所	輸送用機器
3	ニコン	精密機器	ニコン	精密機器
4	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属	テルモ	精密機器
5	テルモ	精密機器	住友電気工業	鉄鋼・非鉄・金属
6	パナソニック	電気機器	東京エレクトロン宮城	電気機器
7	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器	ボッシュ	輸送用機器
8	東京エレクトロン宮城	電気機器	レーザーテック	電気機器
9	ジェイテクト	機械	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	電気機器
10	中部東芝エンジニアリング	電気機器	S M C	機械

■ 10社ごとの売上高

	'22年1月期		'23年1月期		前 年 増減率 (%)	構成比 差異 (pt)
	実 績 (百万円)	構成比 (%)	実 績 (百万円)	構成比 (%)		
上位10社 計	3,765	46.6	4,161	45.2	10.5	▲ 1.4
上位11社~20社 計	1,139	14.1	1,329	14.4	16.7	0.4
上位21社~30社 計	778	9.6	884	9.6	13.6	▲ 0.0
上記以外 計	2,405	29.7	2,832	30.8	17.7	1.0
合計	8,089	100.0	9,208	100.0	13.8	—

※「その他」売上除く

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

49

- 前年2023年1月期の主要顧客、売上高上位10社です。
- 上位に自動車関連、並びに、自動車部品メーカー、更には、半導体製造装置関連メーカーが上位10社に顔を並べています。

エンジニアの選択できる社内制度

成果報酬型の 給与体系


 HV

HVグループは、成果報酬型、高水準な報酬のもと、メーカーのトップシークレット且つ、ハイレベルな設計開発を担う。

エリア限定 制度


 WV


 PV

実務経験3年で、4年目から関東圏、中部圏、関西圏での勤務地のエリア限定が可能。

社内公募 制度


 HV


 WV


 PV

「HVグループ」と「WVグループ」、「WVグループ」と「PVグループ」の間で、所属を変更することが可能。

転職支援 制度


 HV


 WV


 PV

技術者本人が希望して、配属先の顧客メーカーからも要望があった場合、その転職をサポート。また、Uターンで地元に戻って働くための転職をサポート。

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

50

転職支援制度とは

基本方針

当社の技術者が、当社の正社員としてキャリアを積む選択も、顧客企業に転職して新しい世界にチャレンジする選択も、同様に尊重。

顧客企業の メリット

アルトナーの技術者を自社での配属期間中(3～5年)に実力を見極めた上で、採用することができる。

技術者の メリット

アルトナーで経験を積んで実力をつけ、顧客企業に、実際に現場で働く様子で、自分の実力を評価していただくことができる。

アルトナーの メリット

採用

メーカー就職希望で、これまで技術者派遣の業態に関心が薄く、当社への入社に結び付いていなかった学生層が関心を持つきっかけとなり、入社時に他社と比較する際の決め手となる。

営業

当社から転職した技術者が転職先で活躍することで、“アルトナー出身者”のイメージが向上する。転職した技術者により当社と顧客企業との関係がより強くなる。

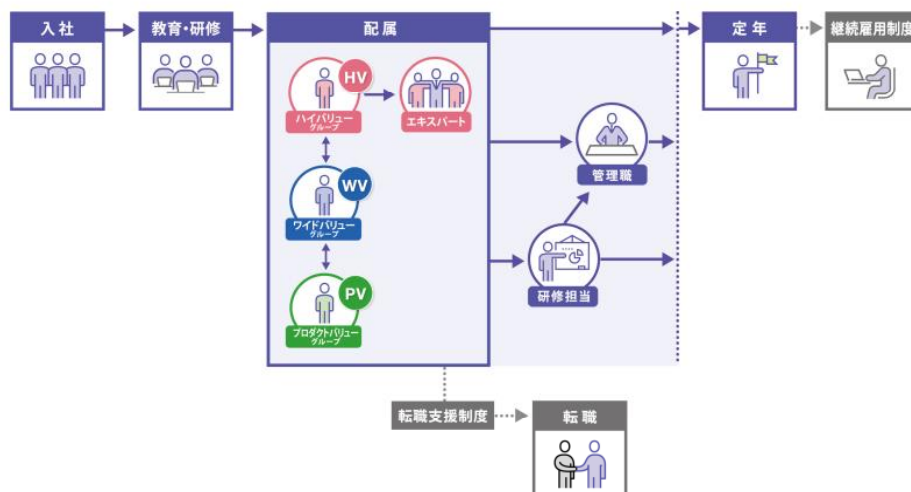
<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

51

エンジニアのキャリアパス

- 「ハイレベルな環境でスキルを磨き高報酬を得たい」「地域を限定して働きたい」「地元へUターンしたい」「メーカーに転職したい」等のキャリアパスを用意。


<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

52

拠点

本 社	東京／大阪
事業拠点	横浜／宇都宮／大阪／名古屋
研修拠点(LC)	東日本／西日本

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

教育・研修フロー

- 入社後は「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」「カスタマイズ研修（応用研修）」というプロセスを経て、メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、顧客企業への細やかな対応力を養う。



<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

産学連携

- 大学が保有する高度な技術とアルトナーの持つ実践的な技術を組み合わせ、産学連携を発展させています。

大学での講義

当社の研修スタッフが、大学で非常勤講師として、また、ゼミ講師として、実践的な講義を行っています。



出版教材

企業と大学のご協力を得て、当社に蓄積された研修ノウハウを書籍にまとめ、当社の教育・研修で活用しています。



学会・団体との連携

加盟学会・団体にて、論文発表を実施。大学関係者との親交を深めています。

- 社団法人日本図学会
- 社団法人日本設計工学会
- 社団法人日本機械学会
- 社団法人電気学会 等

能力開発論文集

研修システム、成果を論文として、教育・企業関係者に公開。広範囲の人材育成の現場で活用されています。



<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

能力開発セミナー

- 様々な分野から講師を招き開催。特定の技術分野に限らず、幅広い知識を習得、人間力を育成。



外部講師より、年10回程、あらゆるテーマを題材に技術情報を提供していただき、人間的成長を目指します。

特に実務経験者にとっては、経験を有効に活かそうとした時の判断基準を養う場となります。

TOEICスコアアップ講座

- TOEIC®対策から使える英語の学習法を学ぶ

ニューノーマル時代に必要な次世代型ビジネススキル講座

- 組織の未来をつくる力、私たちの可能性

技術カパワーアップ講座

- 中国新技術産業の発展戦略と4K/8K・5G
- データサイエンスのための特徴量エンジニアリング入門
- 非接触給電入門
- IoTセキュリティ
- 熱応力問題の解析的方法

人間カパワーアップ講座

- ダイバーシティ時代への対応

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

キャリアサポート講座

- 配属先メーカーの要望スキルに対応するため、業務・キャリアに沿った講座を階層別を実施。



部署配属後も実際にメーカーのプロジェクトに参加している社員が、技術やニーズの高い商品を題材にチーム単位でOJT/OFFJTを問わず研修を行っております。

ソフトウェア 専門スキルアップ講座

- JavaScript入門
- MicroPython入門
- IoTマイコンESP32入門
- 自動車業界におけるMBDエンジニア
- 実践アルゴリズム開発
- パワーウィンドウにおける挟み込み検知

電気・電子 専門スキルアップ講座

- Excel VBAを使った業務効率化
- シーケンス制御と生産現場

機 械 専門スキルアップ講座

- 樹脂板金設計基礎
- 製品構想設計トレーニング
- 身の周りの流体力学

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

57

中期経営計画におけるSDGs達成に向けた主な取り組み

■「カーボンニュートラル」



- エコカーの技術開発を支える人財の提供

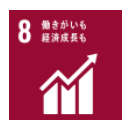


- 気候変動キャンペーン「Fun to Share」への参加
- TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明

■多種多様な人財活用の推進



- 多様性、LGBTに関する取り組み
- 女性の活躍を促進する雇用環境の整備



- ダイバーシティ推進室の設置



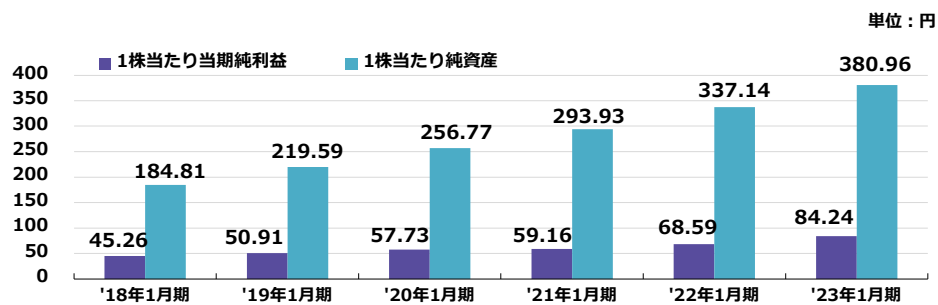
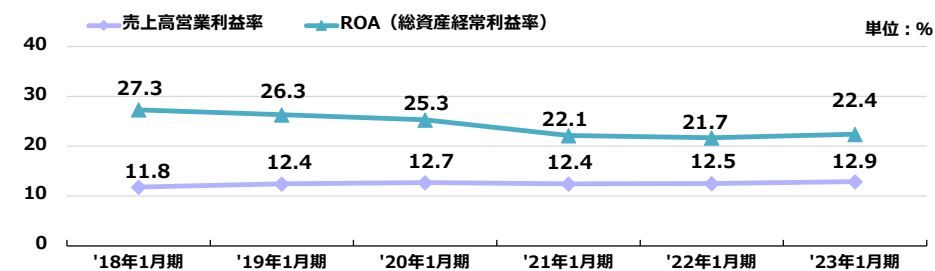
- 雇用における多様性・機会均等の確保
- 障がい者の積極的な雇用

- ダイバーシティ推進室の設置
- 多様性、LGBTに関する取り組み

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

売上高営業利益率/ROA/1株当たり当期純利益・純資産

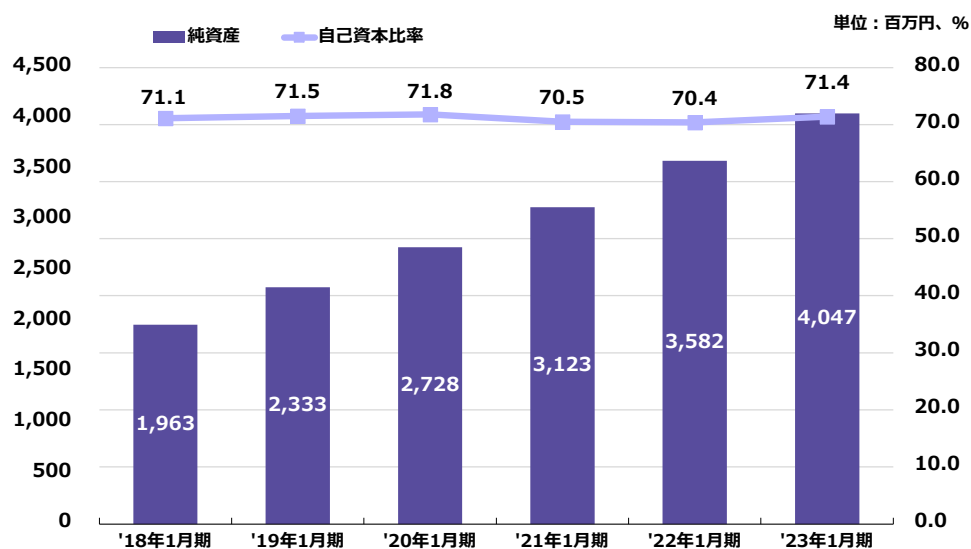


※1株当たり当期純利益、純資産は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
2018年4月1日(1株を2株に分割)

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

純資産／自己資本比率

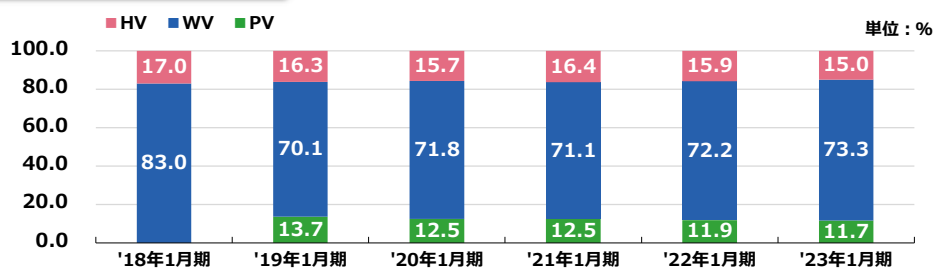
<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

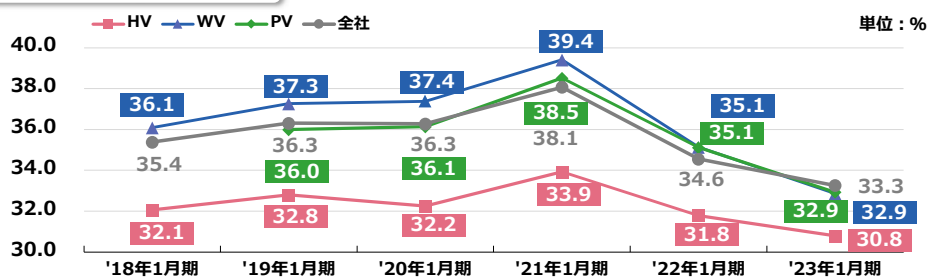
60

グループ別 技術者の構成比／売上総利益率

技術者の構成比



売上総利益率(グループ別/全社)

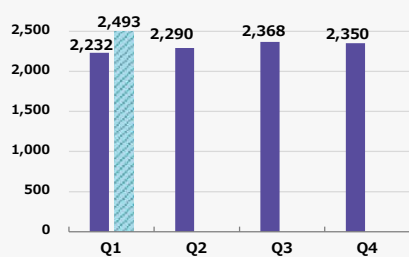

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

四半期（会計期間）業績

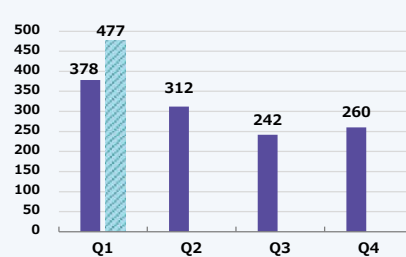
売上高

■ '23年1月期 ■ '24年1月期 単位：百万円



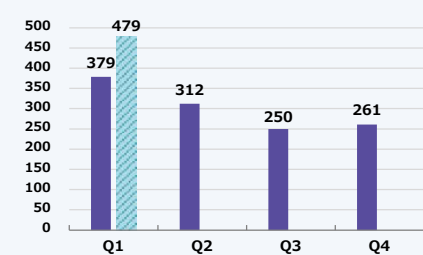
営業利益

■ '23年1月期 ■ '24年1月期 単位：百万円



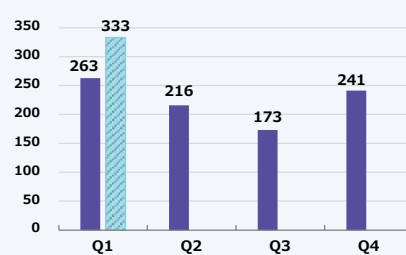
経常利益

■ '23年1月期 ■ '24年1月期 単位：百万円



四半期純利益

■ '23年1月期 ■ '24年1月期 単位：百万円


<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

四半期（会計期間）業績数値

2024年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※① (%)
売上高	2,493	100.0	11.7	25.5												
売上原価	1,528	61.3	10.2													
売上総利益	965	38.7	14.2													
販管費	487	19.5	4.3													
営業利益	477	19.2	26.4	36.0												
経常利益	479	19.2	26.4	36.1												
四半期純利益	333	13.4	26.5	36.2												

※① 業績予想(通期)における四半期ごとの構成比

2023年1月期

	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期			
	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)	実績 (百万円)	百分比 (%)	前年比 (%)	※② (%)
売上高	2,232	100.0	11.4	24.2	2,290	100.0	15.9	24.8	2,368	100.0	17.5	25.6	2,350	100.0	11.6	25.4
売上原価	1,387	62.1	15.9	22.5	1,503	65.6	17.3	24.4	1,666	70.3	24.0	27.0	1,611	68.6	8.8	26.1
売上総利益	845	37.9	4.8	27.5	787	34.4	13.1	25.6	702	29.7	4.5	22.8	739	31.4	18.1	24.0
販管費	467	20.9	▲ 2.8	24.9	474	20.7	4.2	25.2	460	19.4	10.9	24.5	478	20.3	8.8	25.4
営業利益	378	16.9	16.0	31.7	312	13.7	30.0	26.2	242	10.2	▲ 5.9	20.3	260	11.1	40.1	21.9
経常利益	379	17.0	15.0	31.5	312	13.7	24.6	26.0	250	10.6	▲ 4.1	20.8	261	11.1	36.7	21.7
四半期純利益	263	11.8	15.1	29.4	216	9.4	13.1	24.2	173	7.3	▲ 4.1	19.4	241	10.3	89.3	27.0

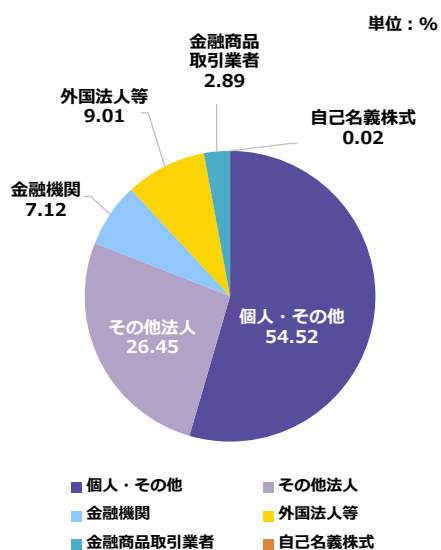
※② 通期業績における四半期ごとの構成比

<https://www.artner.co.jp/>

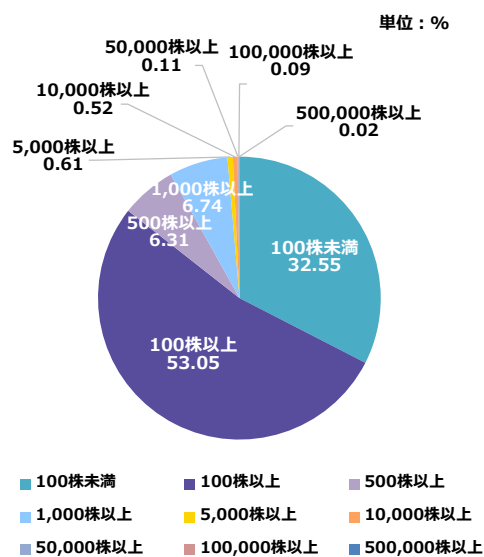
Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

株主構成（2023年1月31日現在）

所有者別の株式分布

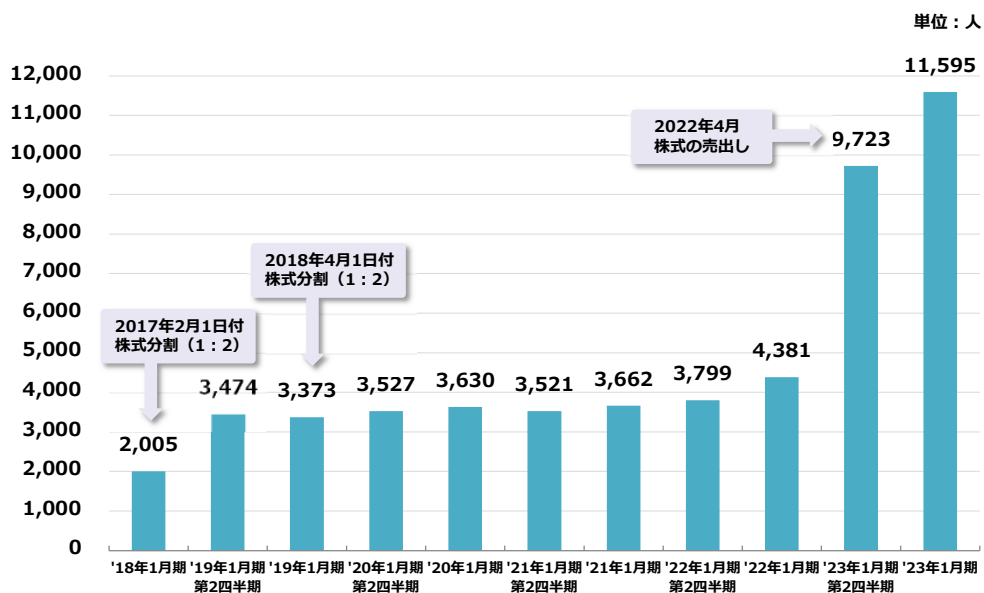


所有株式数別の株主分布


<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

期末株主数

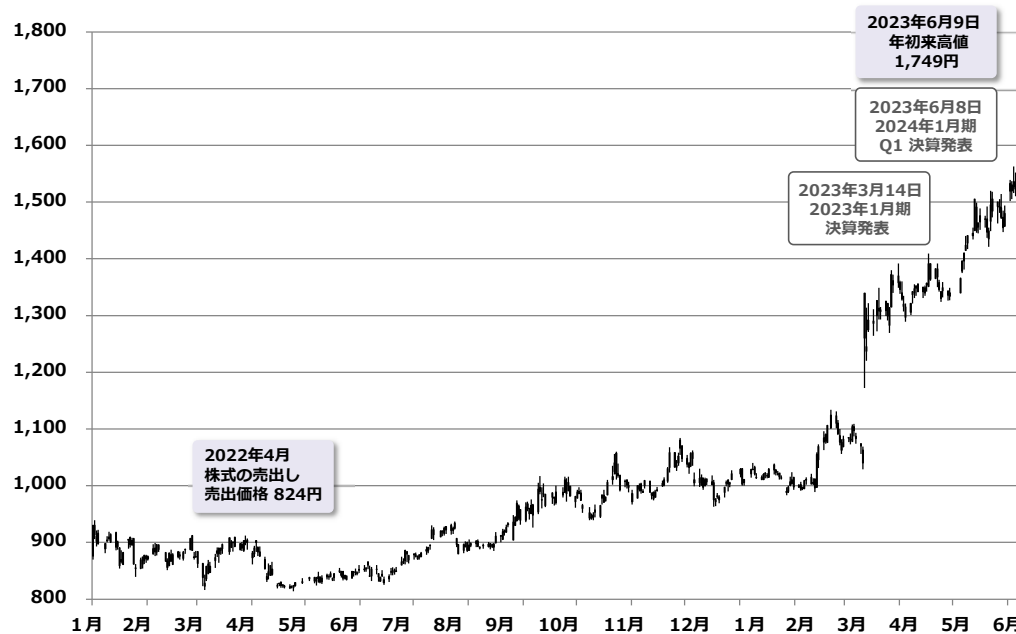

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

65

- 期末株主数の推移です。
- 前年1月末、11,595人となっています。

株価推移（2022年1月4日～2023年6月13日）

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

66

- 株価の推移です。
- まず、2022年4月に、株式の売出し価格824円で実施させていただきました。
- その後、株価が上昇し、2023年6月9日、年初来高値1,749円を付けております。
- 加えまして、6月14日には、年初来高値1,765円の株価を付けています。
- 以上で私からの説明を終了いたします。
- ご清聴ありがとうございました。

本資料のお取り扱い

本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。

本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

(将来見通し)

本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記載されている将来見通しとは乖離が生じる事があります。

(数値の処理)

本文及び図表中の金額は、単位未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

IRメール配信

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の最新情報を配信（無料）
【登録URL】 <https://www.artner.co.jp/ir/other/mail>



お問合せ先

株式会社 アルトナー 経営戦略本部 IR・PRグループ
TEL : 0570-00-2163 / E-mail : ir@artner.co.jp

<https://www.artner.co.jp/>

Copyright(C) 2023 Artner Co., Ltd. All Rights Reserved

67